

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 56
発行日 令和2年5月7日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030
飼育展示数 哺乳類:23種174点
鳥類:24種89点
爬虫類:10種76点
(令和2年4月末日現在)

元気にしています

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、動物園は休園しておりますが、みな元気しております。



新任紹介

4月から動物園で働きはじめた職員を紹介します。



ずっとなりたかった動物園の職員になることができうれしいです。キジに攻撃されたり、ラマに威嚇されたりと、まだまだ動物たちにも認められていませんが、早く動物公園と皆様に貢献できるように頑張ります。
(飼育・診療 小木曾綾子)

幼い頃から憧れていた動物園の飼育員になるという夢を叶えることができました。早く仕事を覚え、より良い夢見ヶ崎動物公園を造っていけるよう努力してまいります。
(飼育 森屋優貴)



まだまだ動物の知識は浅いですが来園者と動物のことについて話せたらと思いますので、気軽に声をかけていただくと嬉しいです！よろしくお願いたします。(飼育 畑野和輝)

初めまして。今までゆめみにゅーすを楽しんでいましたが、自分が掲載される日が来るとは思いませんでした。夢見ヶ崎動物公園が市民の憩いの場となると、裏方で頑張りますのでよろしくお願いいたします。(管理 村田順子)



早くコロナが落ち着き、来園者の皆さまが夢見ヶ崎動物公園の元気な動物たちに再会できるよう、日々飼育業務に努めてまいります。これからどうぞよろしくお願いいたします。(飼育 沼倉真帆)



*公式フェイスブックはじめました。詳しくはこちらから。



★ピックアップ動物★

オオタカ

鳥綱 タカ目 タカ科



大きいタカ、という意味でオオタカではなく、漢字で書くと蒼鷹（あおたか）がなまったもので、頭部から背中は青みがかった濃い灰色に見えます。タカの中でも体はあまり大きい方ではなく、メスは動物公園の周りでも見られるハシブトガラスと同じくらい、オスはさらに一回り小さな体格です。山野に棲み、主に小型～中型の鳥を捕食します。絶滅が心配されていますが、近年では保護活動の結果生息数が増えているという調査結果もあり、今後も調査が必要です。

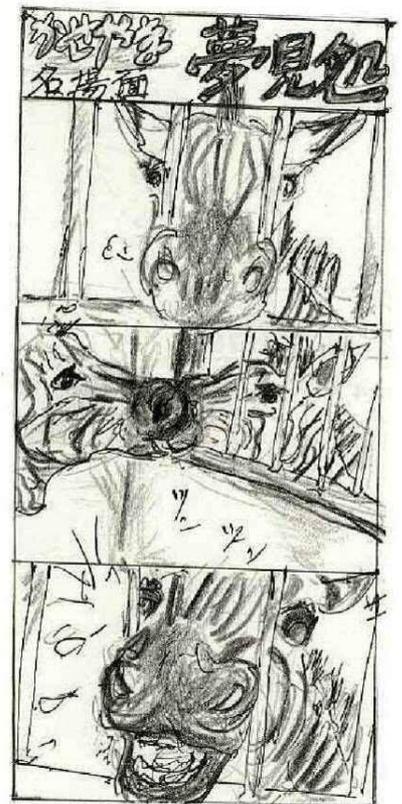
市街地では見ないのではないかとと思われるかもしれませんが、動物公園で展示している個体は川崎市内で保護されました。何らかの事故に遭い、右翼に修復不可能な骨折を負っていたため、翼を切断し、野生復帰できなくなってしまい今に至ります。本来とても神経質な種類の鳥なので、命を助けて本当に良かったのか、その後ストレスで苦しいだけではないのかと悩んだのですが、幸い今の生活に慣れ、翼がなくても狭い部屋であれば好きに動き回れるようになりました。皆様に姿を見せることで少しでも日本の自然環境、ヒトと野生動物の距離感などに気を向けていただくきっかけになっていればと思います。

獣医の日記

今私はこうして動物園で飼育と診療に携わっていますが、獣医師が関わる仕事というのはおそらく一般に想像されるより多岐にわたります。動物が関わるすべての仕事にかかわりがあるといっても過言ではないので、ペットの診療、産業動物の診療、研究者、公衆衛生関連、…たぶん列挙するだけでこの欄が埋まります。

学生時代の仲間をはじめ、現在保健所等で公衆衛生に携わる獣医もたくさんいます。感染症対策の様々な対応に昼夜も休みもなくフル回転で仕事に追われているのに、あまりその仕事内容やギリギリの働きっぷりが話題になることもなく、もちろん本人たちがそのようなことを表明する気も暇もなく、ただ頭が下がります。鳥インフルエンザが猛威を振るった時も多忙を極める仲間の姿を伝え聞き、こっちも大変だけどあちはもっと大変だなあ…と悶々としたのが鮮明に思い出されます。こういう時、同じ獣医でも直接助けになることができないのは頭ではわかっているけど、なかなかしんどく感じることが多いです。

これを書いている現在は動物園が休園中なのですが、仕事量が減ったわけではなく、いつも通りかむしろ忙しい日々が続いています。動物たちの食事や排泄の量や回数は変わらないし、運動も含めて普段通りの生活をさせることで健康を維持させなくてはなりません。病気になるタイミングも選びません。獣医仲間に思いをはせつつ、自分のやるべきことにしっかり集中せねばと気を引き締めながら粛々と仕事をやる日々です。



★動物たちの主な移動(令和2年2月1日～令和2年4月30日)★

フサホロホロチョウ(♂1死亡)、マーコール(♂1死亡)、ホルスフィールドリクガメ(♀1死亡)、ホンシュウジカ(♀1搬出:相模原市麻溝公園へ)